

# 消防団に対する意識調査アンケート集計結果

R4.11 集計

## ○回答期間

令和4年10月1日(土)～31日(月)

## ○回答方法

回答用紙へ記入したのち郵送等による提出

## ○対象者数

460名

男性…212名 女性…248名

(19歳～37歳までの現役団員を

除いた町内に住所を有する者

※R4.9.25時点)

## ○回答者数

90名

男性…47名 女性…39名

回答しない…1名 無回答…3名

## ○回答率

19.5%

男性…22.1% 女性…15.7%

※無回答等は男女割合に反映なし

### 消防団に対する意識調査アンケート

(調査実施) 阿南町消防団/消防団検討委員会 (回答〆切) 令和4年10月31日

「消防団」について、あなたが抱えている率直なイメージをお聞かせください！  
以下の設問に該当する項目を○で選択してください。(回答目安時間は5分程度です)

【問1】あなたの性別は？    ア. 男性    イ. 女性    ウ. その他    エ. 回答しない

【問2】あなたから見て、消防団のイメージは？(複数回答可)  
ア. 火を消してくれる    イ. 災害時に助けてくれる    ウ. 休日ばかり忙しい  
エ. 飲み会が多い    オ. 訓練がきつそう    カ. 何をしているか分からない  
キ. その他 \_\_\_\_\_

【問3】消防団に求めるものは？(複数回答可)  
ア. 火災のための対応    イ. 自然災害のための対応  
ウ. 防災の中核として活躍して欲しい    エ. 家庭も優先してほしい  
オ. 分からない  
カ. その他 \_\_\_\_\_

【問4】あなたなら消防団に加入したいですか？  
ア. 消防団に入っても良い .....  
イ. 消防団に入りたくない(入れない)  
ウ. 全ての活動は無理だが、出来ることはやってみても良い .....

【問5】あなたの災害の意識について  
ア. 火災や災害時に貢献したい  
イ. あまり関心はない

※女性の皆さまへ  
検討段階ではありますが、基本的に男女の役割区別を無くし、女性も基本団員に入っていただくことを目指していますが、女性の人数が増えるまでは、暫定的に女性班のようなものを作り、選択できる制度を検討しています。

【問4】でアまたはウ【問5】でアを選ばれた方は、よろしければ、ご住所とお名前をご記入ください。後日、消防団からのご案内を送付させていただきます。

(ご住所) \_\_\_\_\_

(お名前) \_\_\_\_\_

【問4】でイを選ばれた方は、よろしければ理由があればお聞かせください。

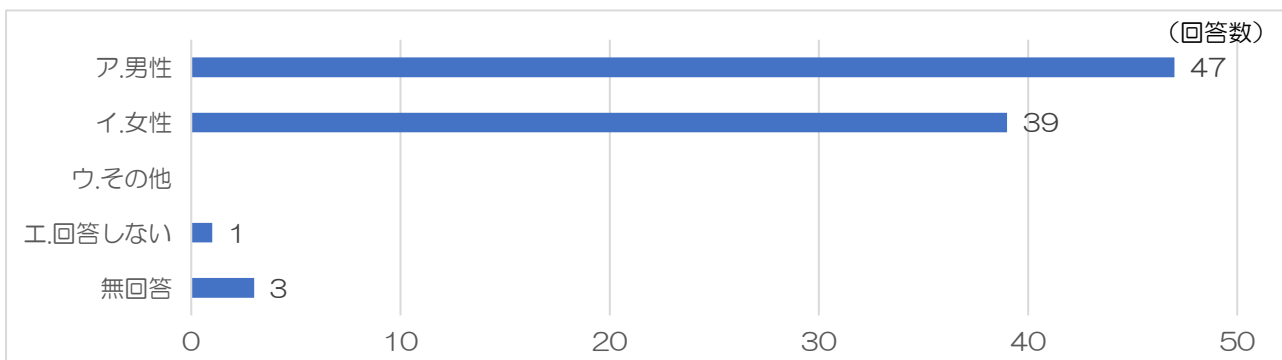
(理由) \_\_\_\_\_

【問6】どんなことでも構いません。あなたの消防団へのご意見をお聞かせください！！

アンケートのご協力ありがとうございました。  
いただいたご意見は今後の消防団活動の参考とさせていただきます。

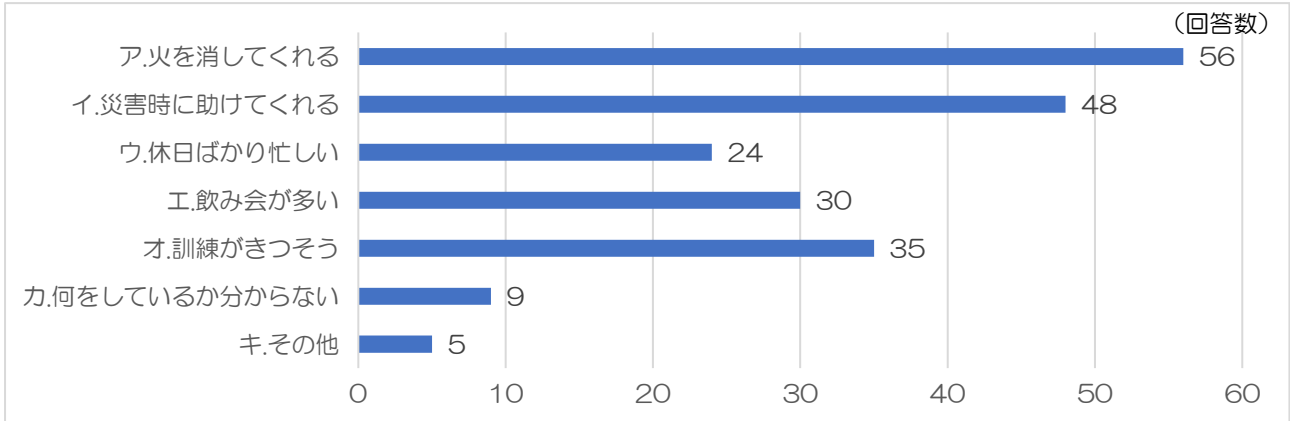
## 【問1】あなたの性別は？

全体的な回答率は20%近くであり、男女で回答率を比較すると男性22.1%、女性で15.7%で、男性のほうが、女性に比べて、若干回答率が高い。

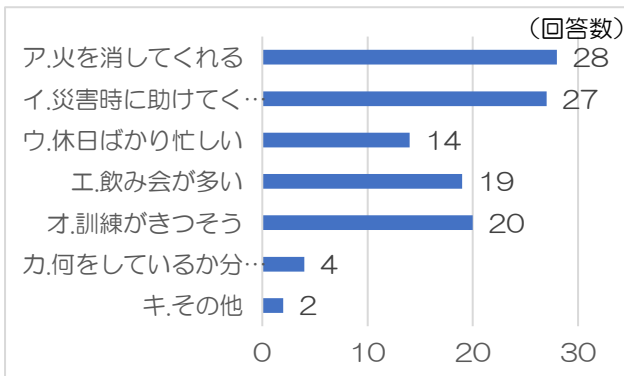


【問2】あなたから見て、消防団のイメージは？（複数回答可）

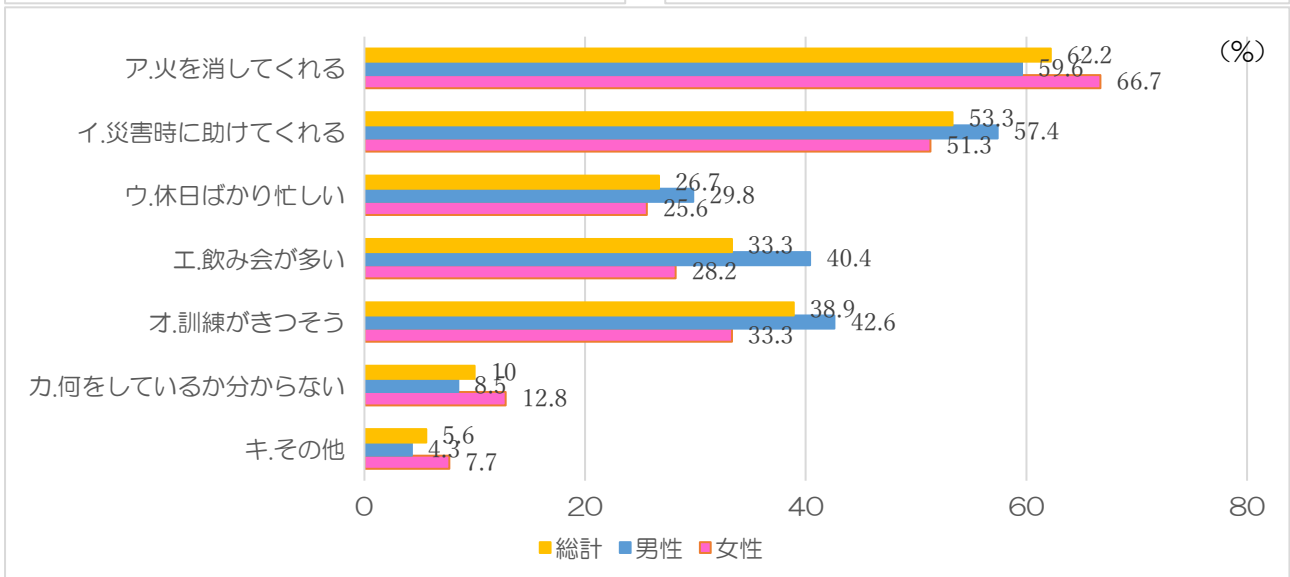
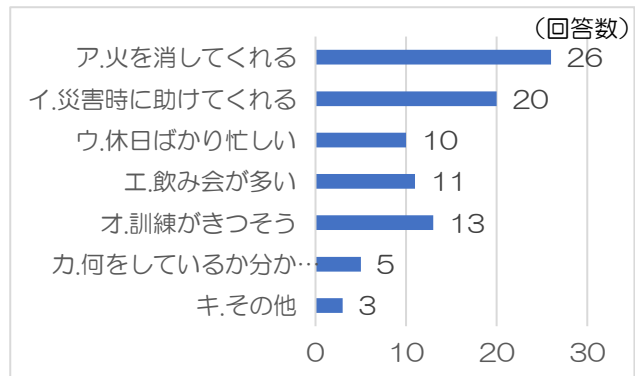
「火を消してくれる」「災害時に助けてくれる」が全体及び男女ともに比較的多く、それぞれ回答者の5～6割近くが回答している。次に「訓練がきつそう」「飲み会が多い」「休日ばかり忙しい」などの課題となる要素が続き、それぞれ全体及び男女ともに回答者の3～4割近くが回答している。



(男性)



(女性)

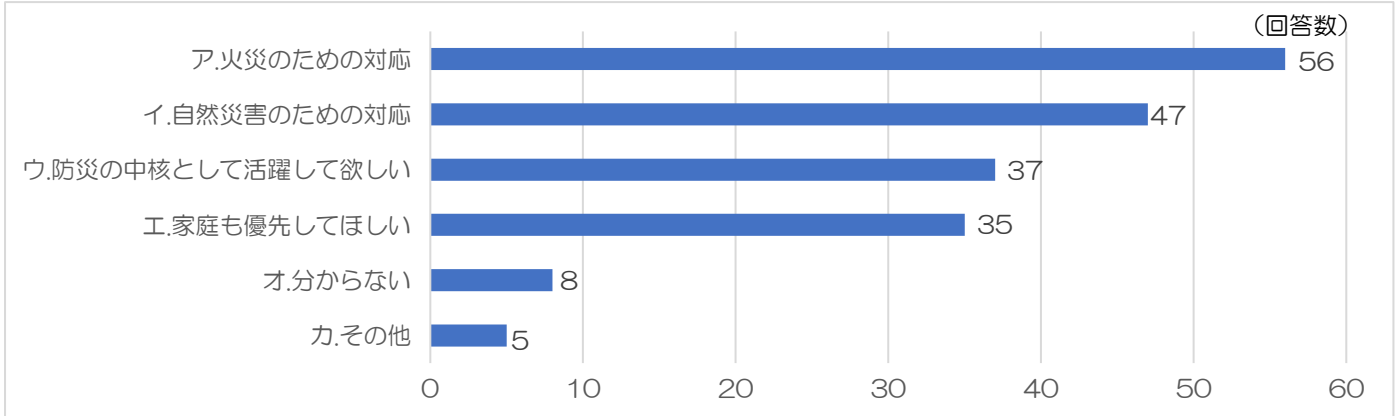


★その他の意見

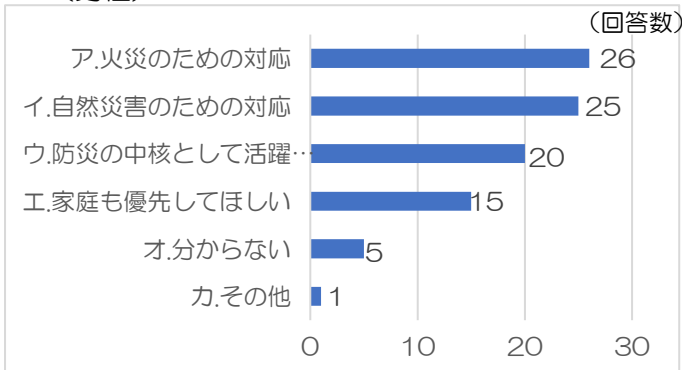
- ・夜や休日に集まることが多い（皆、仕事があるのでそうなるのは当然ですが）……女性
- ・体力がいるし、厳しいし、暴言が多そう（消防団内で）……女性
- ・他町で暮らしていた時、こりて、イメージが悪い。……男性
- ・いじめとパワハラがある……男性
- ・ケーブルテレビで見るが、キビキビとした動き、すごくカッコいいと思います。……女性

### 【問3】消防団に求めるものは？（複数回答可）

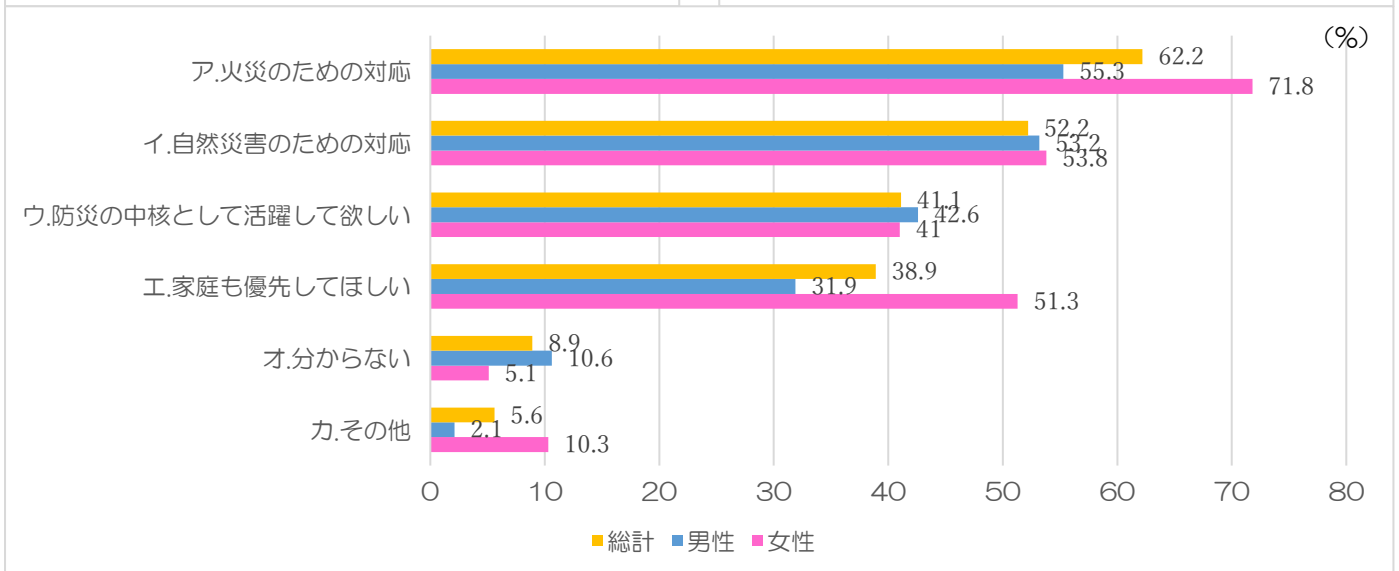
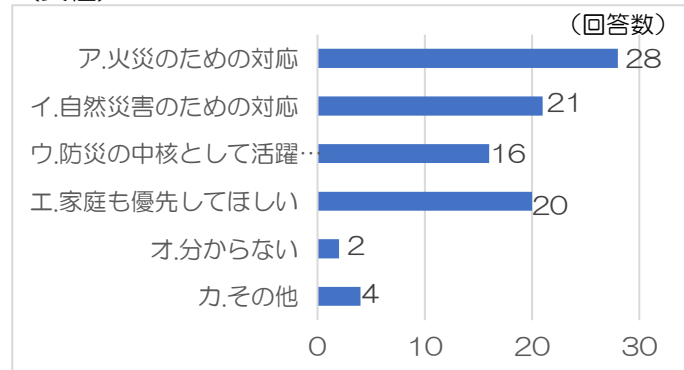
「火災のための対応」が全体及び男女ともに比較的多く、続いて「自然災害のための対応」「防災の中核として活躍して欲しい」の回答が多かった。一方で「家庭も優先してほしい」という回答は全体の回答も少なからず多く、回答者の4割近くが回答しており、男性が3割、女性が5割と女性の割合が高い。



(男性)



(女性)

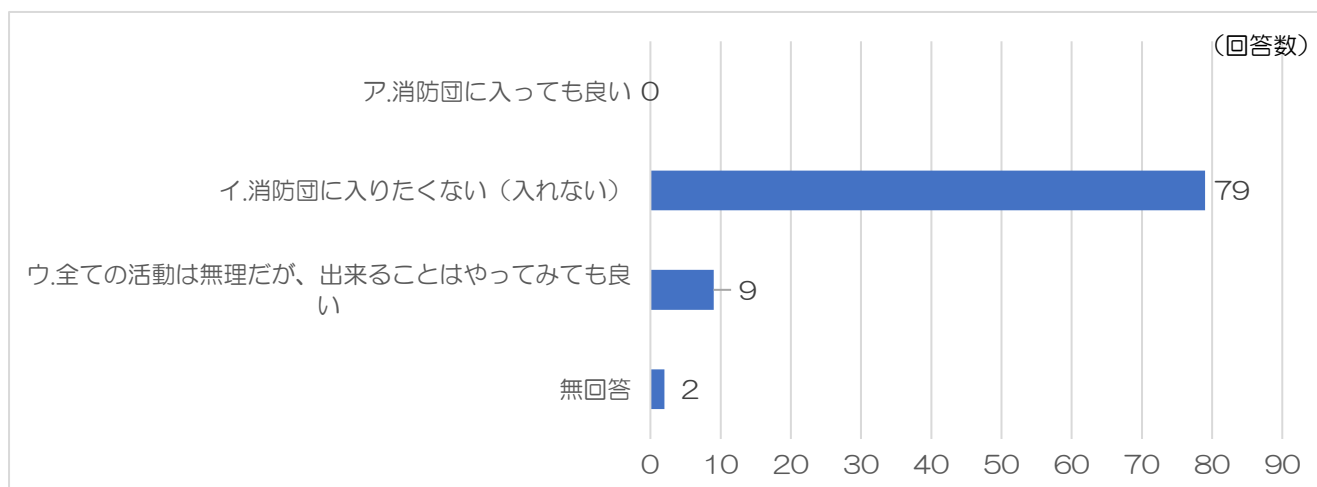


#### ★その他の意見

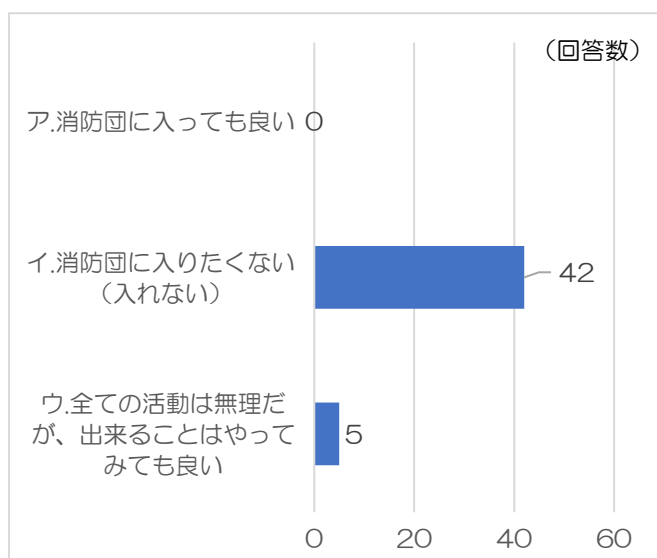
- ・地域の人間関係作りの一環（とくに地元でない人を受け入れる素地があるとよい）…女性
- ・火災についてしっかりとみてほしい！……女性
- ・消防署が遠い場合の命綱……女性
- ・負担と思わないくらいに参加できたらいいなと思います。男女関係なく若い人のかかわれる場になるといいなと思います。……女性
- ・7時間以上の睡眠……男性

## 【問4】 あなたなら消防団に加入したいですか？

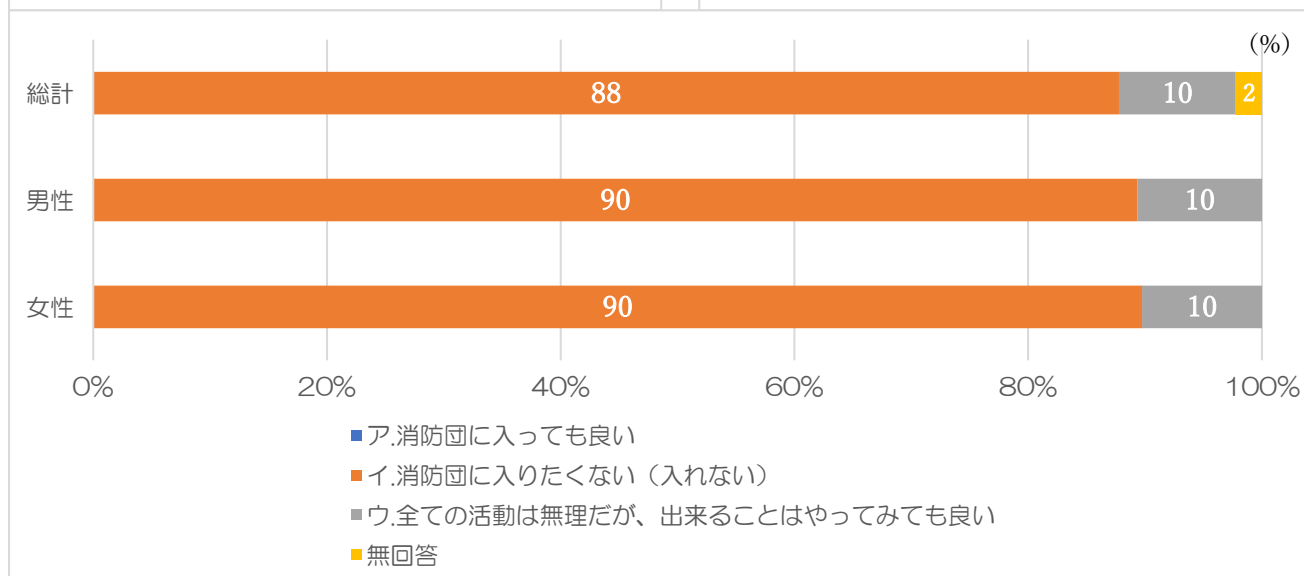
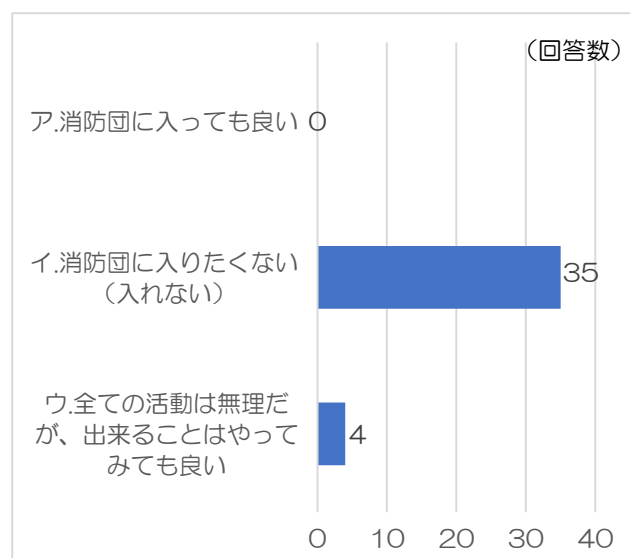
「消防団に入りたくない（入れない）」が全体及び男女ともに9割近くであり、「全ての活動は無理だが、出来ることはやってみても良い」が1割だった。



(男性)



(女性)



## 【問4-イ】 入りたくない（入れない）理由（自由記述）

### 仕事や家庭の事情のため・・・28名

- ・医療職のため、災害発生等の場合は、自分の職場から呼び出しがかかってしまう。…男性
- ・職場が不定休である為…男性
- ・仕事上きびしい…男性
- ・休日などにも仕事のお客様対応等があるため…男性
- ・仕事が忙しい…男性
- ・公務員であるため…男性
- ・仕事で転勤が多く阿南町にいない為…男性
- ・家庭があるので厳しいです。申し訳ありません。…男性
- ・仕事が忙しいため…男性
- ・仕事が忙しいため…男性
- ・転勤もあるので、継続して活動できない。タテ社会が強いと思っている。…男性
- ・子どもを置いて出かけられない。仕事が不規則。休みがないのはイヤ。…男性
- ・子どもが小さいので離れることができません…女性
- ・育児や今後の妊娠・出産などを考えると難しい。（女性班の制度はとても良いと思います。）…女性
- ・家族の時間が無くなりそう。子育て中（特に小さい子がいる場合）は夫に家に居てもらいたい…女性
- ・ひとつの家庭から2人団員を出すのは負担が大きい。…女性
- ・家の事で精一杯です。…女性
- ・小さい赤ちゃんがいるため…女性
- ・休日も仕事が多くあまり参加できなさそうなので…女性
- ・夫婦で入るのはムリ…女性
- ・小さい子がいるので余裕がない。…女性
- ・夫の仕事が忙しく、育児もあるため…女性
- ・子育て中なので…女性
- ・自分では、仕事+αはできないので。…女性
- ・子どもが小さいため…女性
- ・仕事が不規則。子どもがいるため子どもを家において出かけられない。…女性
- ・仕事と子育てで時間がない。…女性
- ・自分のことで精一杯で他人を気にする余裕がないから。…女性

### 町外に住んでいる（引っ越す予定など）のため・・・9名

- ・阿南町に住んでいないため…男性
- ・県外在住のため…男性
- ・町外在住のため…男性
- ・住所は阿南町ですが、実際には他地域に生活しており参加はできない。…男性
- ・今は都合で阿南をはなれている為…男性
- ・大学卒業後、町外へ転出する為…男性
- ・阿南町に住んでいないため…女性

- ・阿南に住んでいない…女性
- ・町外へ引っ越しするかもしれないから…女性

### **大変そう・面倒くさそう・・・7名**

- ・面倒くさそう…男性
- ・人付き合いが大変そう。…男性
- ・大変だから…男性
- ・上下関係が強く、古い集まりだと聞いている。…男性
- ・面倒…女性
- ・大変そうだから…女性
- ・大変そうなイメージがある…女性

### **男性的なイメージ？（体力面の不安など）・・・5名**

- ・女性だから…女性
- ・消防の役割を自分にはできないと思うので…女性
- ・体力がないから…女性
- ・体力ない…女性
- ・自分の体力がもたないと感じている！…女性

### **大会のための練習をしているイメージ・・・2名**

- ・大会などの練習をやめるべき。火災や災害時の対応の訓練を行うべき。…男性
- ・大会の練習が多いイメージがあるため…女性

### **自分の時間を優先したいため・・・2名**

- ・自身の生活を優先させたい…男性
- ・休日に呼ばれる印象があり、自分の時間が減るのが嫌だからです。…男性

### **学業があるため・・・2名**

- ・学生のため…男性
- ・学業…男性

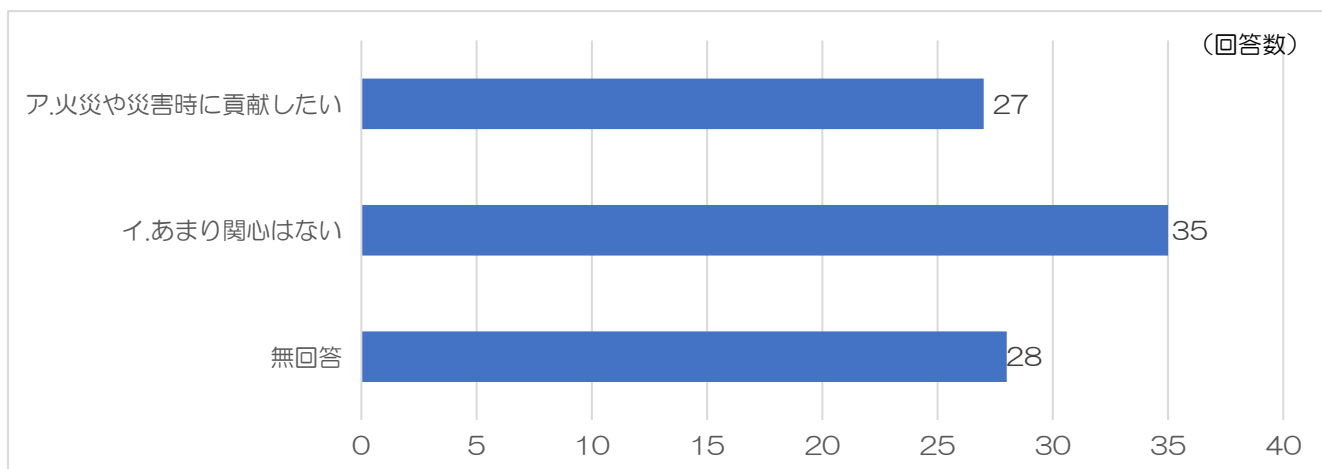
### **その他**

- ・飯田市消防団に入団済…男性
- ・消防吏員のため…男性
- ・今後の在任期間があまり長くないと思うため。…男性
- ・消防団としてのお役には立てなさそうなのですが、地域の医療者として防災活動の一翼を担う必要性は感じております。…男性
- ・体に障害がある為…男性
- ・自律神経が壊れて動けない…男性

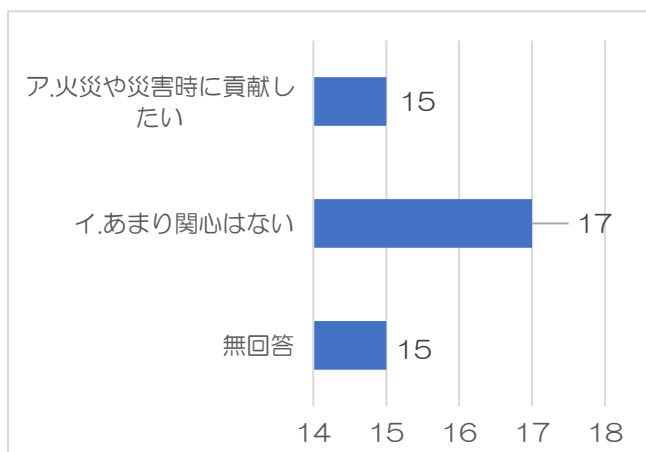
## 【問5】 あなたの災害の意識について

「火災や災害時に貢献したい」が全体及び男女ともに3割近くであった。

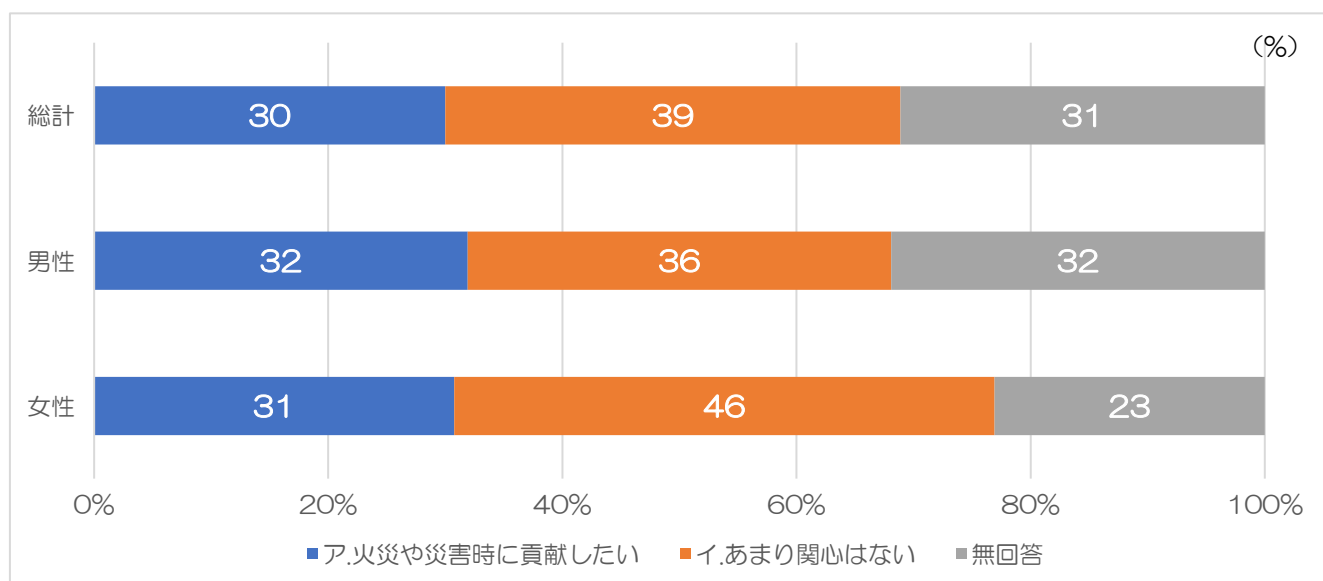
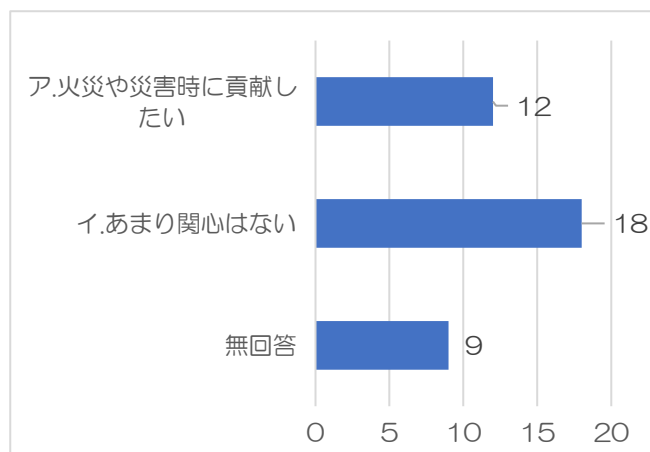
※ちなみに無回答を除外した有効回答を対象とすると全体及び男女ともに4割台となる。



(男性)



(女性)



**【問6】どんなことでも構いません。あなたの消防団へのご意見をお聴かせください。**

- 忙しい中、ご苦労様です…女性
- 申し訳ありませんが、現住所が岐阜の為、入団等は不可能です。…無回答
- 独身の頃は別の地域で入ったこともありましたが、この年頃の女性は結婚してからも加入するのはなかなか難しいと思います。昔、加入していた時は地域の人たちとも交流できてよかったです。…女性
- 見回りも消火器点検もよくしてくれていて、私たち家族も災害のことを見直すことが多くて、災害マップ（消防所のマップ）を配布してほしい!!…女性
- 普段から火災や災害に備えていただき、ありがとうございます。…男性
- 集まるだけでも大変だと思います。いつもありがとうございます。…女性
- 飲み会が多い、無理やり飲まされる、多忙という昔のイメージが拭えない。…女性
- 様々な活動、お疲れ様です。お世話になっております。阿南町での生活が主になる時がきたら検討したいと思います。…男性
- がんばって下さい…女性
- 地域で消防団として頑張っている方々、ありがとうございます…女性
- 消防団は災害時必要だと思います。ムリしない程度に活動していくのは良いと思います。必ず参加しないなど強制的な事をしなければ、今後も同じ様に活動しても良いかと思いますが・・・飲み会などのイメージが強く、良いイメージはないですね。…女性
- 消防団は必要だと思いますが、家庭の優先、仕事優先など考慮してあげなければ人は減ると思います。…男性
- 災害時に必要だと思うが、会議や訓練・大会・イベントが多く、子育てが大変な時に夫の助けが得られず苦労している。役職がつき、休んでほしくても休んでもらえず悲しい。…女性
- 体格が小さく力仕事などは難しいのですが、啓発活動や高齢者訪問などぜひやってみたいです。地域のお力になれば嬉しいです。…女性
- 縦社会なので難しいと思いますが、自分の健康と命を疎かにせずに活動してください。…男性
- 本当に必要なかギモンです。…男性
- 地域防災のリーダー的立場として活動していただき感謝しています。…男性
- 短期間ではありますが、消防団員として活動していました。  
噂では「飲み会・アルハラ」が多いと聞いて身構えていましたが、いざ入るとそんなことはなく、飲み会関係はとてさっぱりとした分団でした。（他の分団に比べて…）  
最も負担に思ったのは、年末の夜警です。「年末に火災が多い」というのは昔の名残だと思います。現在も確かに年末は普段と比べて火災件数が多いかもしれませんが果たして詰所に毎日詰めている必要性はあるのでしょうか？  
年末は本当に忙しいです。そのような時に最も頼りになる家の男衆（女性団員もいるので表現が誤っていたらすみません…）が、毎日、留守にしているのは本当に家族にとって負担だと思います。  
しかも、詰所にいて、特にやることもなく軽食を食べている…。時間の無駄だと思います。大半の人は家に居て年末の仕事をしたいと思っているはずです。  
私もその一人でした。ただの人数合わせのために詰所へ行き、カップラーメンを食べて数時間、ボーっとしている。昔からの伝統かもしれませんが、現在に全くそぐわない文化だと思っています。  
ましてや、年末夜警で飲酒をしている分団もいると聞きます。災害に備えているのに飲酒をしていて



「出動できません」とは本末転倒だと思います。

昔からの伝統を守ることはとても大変ですが素晴らしいことだと思います。しかし、現在にそぐわない行事はどんどん削って、スマートな消防団を目指すべきだと思います。

ポンプ操法については、下伊那の各町村で大会中止の動きがあります。大会については置いておいて操法については、訓練すべきだと思います。やはり、この操法をしっかりとやっておかないと実災害で水が出せない、ポンプが使えない、ということに直結するからです。

「実際の災害に向けた訓練を操法のかわりに行う」という意見もありますが、正直なところ、消防団員の方で訓練に関するノウハウ（内容、構成）を持っている人は少ないと思います。

なので、結局、訓練として集めても機械の動かし方といった変わり映えのない内容になってしまうと思います。

そのため訓練に対しては、積極的に阿南消防署に協力してもらって、全て、阿南消防署に訓練プランを練ってもらってもいいと思います。

「無理のない範囲で活動できて、地域に貢献できる」これが、これから目指すべき消防団の形だと思います。

…男性